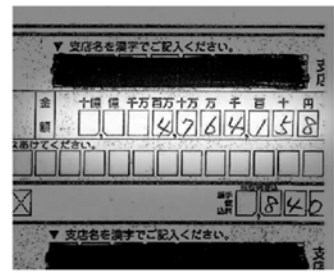


サンヒル柏原の工事は、市長の後援会幹部の親戚? 単独随意契約かと。

前号のかしわら見張り番に掲載した「サンヒル柏原の改装工事」は、吹田市で問題になっている「単独随意契約」であった。総額4764158円が平成21年11月20日に支払われていた。柏原市の



条例では、随意契約は130万円以内であると聞く。サンヒル柏原は、第三セクターではあるが、全ては市の公費が使われている。岡本市長は、公共事業に対して経済性・公正性を踏るために入

札制を導入した。サンヒル柏原の工事に關して、単独随意契約にする理由があったのか説明する責任があるように思う。サンヒル柏原の経営赤字も柏原市が負担するのである。

俳優の菅原文太氏が新党結成 これからは市民の時代だ!

新党「いのちの党」で国政に「仁義なき戦い」をしかける 亀井静香・国民新党前代表と連携か!?

映画「仁義なき戦い」で知られる俳優・菅原文太氏が新党を結成した。結成のうわさはすでにネット上で流れていたが、ついにその内容が週刊紙(サンデー毎日 11月25日号)に掲載された。

国民は、いのちこそ大事にする国を求めたい

週刊紙の記事によると、菅原氏の結成新党に至った理由が以下のように書かれている。「日本人は物質的な豊かさを求める国民となり、バブル後もその路線を続け、その結果、今のような疲弊した姿となつてしまった。



これでよかつたのかという声、福島原発の大事故から表だって出てきている。若者の自殺、子供への虐待、こんな社会でいいのかという国民が出した答えが、物や金でなく命こそ大切にされる社会の構築である。

「津波や原発等で生活の基盤を失った国民がいるにもかかわらず、政府は消費税増税を打ち出した。政府は高度成長期のように、希望と労働

意欲に燃えて働く場がいくらでもあるという幻想を追つていけるのではないか。国民は、政治家の打ち出の小づちではない。「沖繩に、安全が疑問視される垂直離着陸輸送機「オスプレイ」の配備を許し、国民の命よりも軍事同盟や国の体面を重んじる政府に、もはや希望や信頼を持つことができない」

「思想、信条などの違いを超えて、声なき声を後押しする役目を果たす役割を果たさなければならぬ。何もしなくないのだからか」。

こういう内容の設立趣意書とよべるものを発表し、命を大切にする「いのちの党」の結成宣言をした。

何もつなぐつてくたさるんか

新党には大学院教授、医師、デザイナー、大手企業元会長らそうそうたるメンバーが名前を連ねるといわれている。一つの方向性で集まったものを「党」として考え、「いのちの党」としたという菅原氏。命が粗末に扱われている時代に、あえて「いのち」と名付けた。菅原氏は、大物政治家でなく、地元で真面目に暮らしている人々を励ましたいと、地方の町長や村長にも声をかけようとしている。

「後になって、「あいつは何もやらずに逝ってしまったのか」といわれるのはいやだ」と話し、自身は「政治に直接かわるつもりは一切ない」らしいが、政治家のなかにもこのままではいけなないと考えている人物もいるだろうし、地方の首長が国政に出ることになれば応援したいとも言っている。

菅原氏は「現役政治家との連携は基本的に、考えていない」らしいが、亀井氏に対しては「古くから応援してきた仲である。彼には、国民に対する最後の務めを果たしてもらいたい」と述べている。今後、「いのちの党」と亀井氏との連携は大いに可能性がある。濱浦議員は「これから市民の時代で、政党政治はもう終わりを告げた。政党でなく、市民主導の政治を行うべきである」と述べている。



10月26日 赤坂にて

市民の声

「かしわら見張り番」に寄せられた市民の方からの声をご紹介します。

「議員の半分でなく全員女性にするべきだ!」と男性から激励の声が

前号のかしわら見張り番の2面に掲載した「女性の力をもっと活用しよう!議員の半分近くは女性にするべきだ!」に対して、市民から賛同の声が寄せられた。

「この記事は全くもって同感です。女性のほうが細やかで一生懸命にやると思います。職員も議員も全員が女性になってほしいと思っているぐらいです。濱浦さん、頑張ってください」と激励のお電話だった。声の主は年配の男性で、どちらかというと古い意識が残っていると思われる柏原だが、進歩的な発言をされた。「昭和は男の時代だったが。平成は女性の時代」と語る人もいる。男性からも女性尊重の意見が出されるようになってこそ男女参画社会がつけられるのではないか。



「柏原新聞など相手にするな」と市民の女性から励ましの電話

柏原市議員の中傷記事を掲載し続ける『柏原新聞』。先日、濱浦佳子議員に対する嫌がらせと思われる記事が載せられた。それに対して女性市民から励ましの電話があった。

「『柏原新聞』って名前のあのチラシ、なんなのでしょうね。イノシシ処理場や竜田古道の整備で限りなくグレーな市長のことは一切触れずに、ほかの議員の悪口ばかり書いていますよね。最初はあまり気がつかず読んでいたのですが、市長の施策の疑惑や失敗を全く載せないことで、柏原新聞の内容はあやしいと思うようになりました。柏原新聞って市長の腹心がやっているのでしょかね!?濱浦さんのことも載っていましたが、あんな下品なチラシの書くことなんか気にしないでいいですよ」